

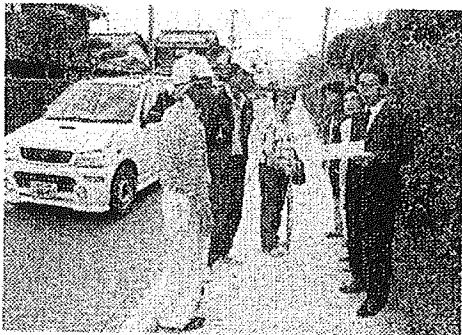
公明新聞記事 平成17年11月26日(土)

水路上の危険 な歩道を整備

福岡県前原市

安心して歩けるようになります——。前原市篠原西の市立前原中学校前を通る県道雷山・前原線で、危険な歩道の修繕・整備が進んでいる。実現に尽力した同市議会公明党の笹栗純夫議員が、このほど地域住民と現場を視察した【写真】。

同歩道は水路上を道路



として利用しており、25年前、コンクリート製の蓋(長さ150センチ、幅70センチ)をいくつもかぶせて造られた。最近では蓋の老朽化で段差が生じ、歩行が危険な状況となっていた。

このため、住民から相談を受けた笹栗議員が、市建設課を通して県前原土木事務所に歩道整備を要請。同事務所が今年7月から水路にコンクリート蓋かけ工事を進めている。区間は同中学校から南側に280メートル(うち蓋かけ区間約190メートル)。防護柵を設置、バリアフリー化も施されている。完成は12月12日の予定。